

【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下、TAP）の体験を通して、その教育効果を体感するとともに理念や手法を理解する。また、集団の力を借りながらコミュニケーションの楽しさや手段を学んでいくことで、人間関係の育み方を知る。

【参加者】6名（男4名 女2名）

【プログラムの内容】

1日目

- 10:00 開講式、オリエンテーション
- 10:30 セッション①「アイスブレイク等」
- 13:00 セッション②「イニシアチブ・ローエレメント等」
- 19:00 セッション③「Being」

2日目

- 9:30 セッション④「ハイレメント」
- 13:30 セッション⑤「理論・Being・ふりかえり」
- 14:50 閉講式

セッション①



少人数ではあったが、アクティビティを通して参加者の緊張がほぐれ、個人からグループとなっていった。

セッション②



コミュニケーションを必要とするアクティビティを実施し、参加者同士が本音で意見を伝える場面がみられた。グループから少しずつチームへと変化していった。

セッション③



夜は感情を出したり、失敗を笑いあえたりするようなアクティビティを通して、それぞれの「楽しい」について考える機会となった。また、次の日どのようにチャレンジするかチームで考える時間となっていた。

セッション④



2日目はハイレメントを行った。参加者がお互いに安心して活動できる環境について確認し、声を掛け合いながらチャレンジしていた。

セッション⑤



2日間の体験のふりかえりを行った。その後、グループの成長を通して、個人の成長を促すTAPを効果的に提供するための考え方やアクティビティの提供の仕方について、まとめを行った。

【参加者の声】

- ・ 普段関わることのないような様々な職業の方がいて、そのメンバーで編成されたチームだからこそ、より多くの視点が集まり、自分にとっての視点を広げる良い経験となった。
- ・ プログラムの意図とチームの成長の振り返りや評価を聞いたかった。
- ・ 普段あまりしない経験から多くの気づきがあった。
- ・ 予定調和にならない活動だと思うが、ファシリテーターはどのようなことを感じて、アクティビティを組み立てていたのか興味がある。

【成果と課題】

セッション①では参加者のニーズに合わせて、数多くのアクティビティを体験してもらうことができた。また、今回は過去にTAP研修会に参加された方も複数人いた。改めて参加者としてTAPを体験したいと思って参加を希望される方が一定数いることから、指導者として、指導の質を落としてはいけないと実感した。また、今回は参加者が6名と少なかったため、実施の時期や広報の仕方について工夫が必要である。